

平成30年度下水道局資金運用管理実績(年間)について

平成30年度の年間の資金運用管理実績を取りまとめましたので、お知らせします。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	30年度 (A)	29年度 (B)	対前年度比 (A-B)
平均残高	409億円	465億円	481億円	629億円	496億円	519億円	△ 23億円
最高残高	919億円	766億円	824億円	912億円	-	-	-
最低残高	182億円	310億円	280億円	504億円	-	-	-
利回り	0.001%	0.003%	0.004%	0.003%	0.003%	0.002%	0.001%
運用収入	15万円	36万円	48万円	50万円	149万円	115万円	34万円

- 工事費等の支出の増加により、平均残高は前年度より減少しました。しかし、利回りが前年度の0.002%から増加し、0.003%となりました。その結果、運用収入は前年度の115万円から増加し、149万円となりました。
- 平均残高は496億円でしたが、期中の残高は企業債等の収入や元利償還金等の支出により大幅に増加、減少することがありました。
- このような当局特有の資金状況を踏まえた資金収支の見通しを基に、日々の支払に備える支払準備資金を普通預金で確保したうえで、運用可能な資金については、短期間の定期性預金による運用を行いました。

運用商品別内訳

	期中平均残高		残高推移				運用収入 及び 利回り
	30年度 億円	構成比 %	H30.3.31 残高 億円	H31.3.31 残高 億円	増減		
					増減額 億円	増減率 %	
預金	496	100.0%	636	824	188	29.6%	運用収入計
定期性預金	152	30.6%	100	120	20	20.0%	149万円
普通預金	344	69.4%	536	704	168	31.3%	利回り
計	496	100.0%	636	824	188	29.6%	0.003%

注1 「運用収入」は、発生主義による額を掲載しており、実際に収入した額とは異なる。

注2 「利回り」は、年利換算した計数を表示。

注3 計数については、表示単位未満を四捨五入し端数整理をしていないため、合計等と一致しない場合がある。